

長久手市男女共同参画情報紙（中学生向け）「自分らしく v o l 3」
インタビュー記事案

《あなたの将来の夢は？～活躍するあの人にインタビュー～》

みなさんの将来の夢は何ですか？

長久手市内で「消防士」「保育士」として活躍するお二人に、どのように職業を決めたのか聞いてみましょう。

《インタビュー①》

◆職氏名

長久手市消防署 消防士 角田真美（つのだまみ）

◆キャッチフレーズ

中学生の時からあこがれて、長久手市初の女性消防士に！
あきらめずに努力すれば、夢は必ずかないます。

◆インタビュー

(1) この職業を目指そうと思ったきっかけは？

中学3年生の時、消防署に職場体験に行きました。隊員の方と一緒に訓練をしたり、間近で活動を見学したりする中で、助けを求めている人のために全力で活動する消防隊員の姿にあこがれを持ち、将来は消防士になりたいと思いました。

(2) 仕事の内容は？

今年4月から救急隊として勤務しています。普段は消防車両や無線の点検、また出動に備えて訓練を行います。いざ、出動指令が入ると、火災現場に駆けつけ消火活動を行ったり、救急の場合は事故や病気の患者さんへの処置や救急車で医療機関への搬送を行ったりします。

(3) 「やりがい」を感じることは？

人の命がかかっている仕事なのでとても責任を感じ、日々気を引き締めて働いています。その中でも、普段の訓練の成果が実際の現場で発揮できたときや対応した患者さんから後日「ありがとう」というお礼の連絡をもらったときやりがいを感じます。

(4) これからの「目標」は？

消防士の活動はチームワークです。チームの仲間同士が助け合うことでスムーズな活動を行うことができます。消防士の活動の中には、「女性だからできること、わかること」があると思います。そのことを活かし、私ができる活動をすることで、チーム全体のスムーズな活動につなげていきたいと思っています。

消防士が向かう現場には、必ず助けを待っている人がいます。その人の不安を一秒でも早く取り除いてあげられるように、がんばっていききたいと思っています。

(5) みなさんにメッセージを

今は、いろんな刺激をもらえる時期です。たくさん悩んで、自分の夢を探してください。私は中学生の時に「消防士」になりたいと決めた時から、夢をあきらめませんでした。そして現在消防士として働いています。どんなに大きな夢でも、周りから無謀な夢といわれてもあきらめず、自分を信じて努力を続けることができれば夢は必ずかないます。

《インタビュー②》

◆対象

長湫北保育園保育士 土屋翼（つちやつばさ）

◆キャッチフレーズ

毎日子どもたちと楽しく遊びます！

自分の「好きなこと」が仕事です！

◆インタビュー

（1）この職業を目指そうと思ったきっかけは？

中学生の時はサッカー部に所属して、サッカーに夢中でした。大学生のころ、市内の児童館でのアルバイトで子どもたちと遊ぶ楽しさを体感し、友人やアルバイト先の先輩などからのすすめもあり、保育士を目指しました。

（2）仕事の内容は？

子どもたちに「友達と遊ぶのって楽しい」と感じてもらえるよう、毎日楽しい遊びを考えんでいます。成長していく子どもたち一人ひとりの様子を丁寧に見て一緒に遊びながらも、子どもたちが安全に過ごせるように、他の保育士とチームを組み見守ります。

（3）「やりがい」を感じることは？

子どもたちが私と一緒に遊ぶ仲間だと思ってくれていることが何よりの「やりがい」です。また、子どもが今までできなかった動作を習得するために、どのような遊びをしたらよいかを考え、そしてその動作を習得して大きく成長した子どもと一緒に自分も喜べることに「やりがい」を感じます。

（4）仕事をする中での「目標」は？

保育士は男性でも女性でも「子どもと遊びたい、楽しみたい」と考えている人にはぴったりの仕事だと思います。そして保育士はみんな子どもと楽しく遊ぶためにいろいろな工夫をしています。だからこそ、女性の保育士が多い中で、男性の私ができる遊びを考え、子どもたちへのアプローチを工夫していきたいと思います。

（5）みなさんにメッセージを

今、みなさんには一生懸命になっていることがあると思います。興味のあること、好きなことにつながる仕事はきっとあると思います。まずはそういう仕事を調べてみてはどうでしょうか？将来、好きなことを仕事にする人がたくさん増えてほしいです。